

**2025年12月30日（火）【外為L a b】松田哲  
タイトル：【今日は、12月30日】**

今日は、12月30日。

今年（2025年）も、今日を含めて残り2日だ。

今年（2025年）のドル／円を振り返ると、年初（2025年年頭）は、157円程度で始まった。

2025年1月半ばに、ドル／円はこの年（2025年）の最高値158円台後半を付けた。

そして、そこ（158円台後半）から大きく下落している。

下落の途中で、少し調整のリバウンドをする場面もあったが、2025年4月下旬に至るまで、大きく下落を続けた、と言って良い。

2025年4月下旬に、ドル／円はこの年（2025年）の最安値138円台後半を付けた。

最安値138円台後半を付けてからのドル／円は、上下動を繰り返しながら、徐々に上昇した、と言って良い。

この徐々に上昇した期間は、2025年4月下旬から10月初め頃まで。

2025年4月下旬の138円台後半から、この期間の高値150円台程度までのゾーンで、下値を切り上げるように動いた。

2025年10月初めに付けた安値146円台からは、ドル／円の上昇スピードが加速した。

2025年11月下旬に付けた高値157円台まで、約2か月で10円以上の上昇となった。

2025年11月下旬から今年（2025年）の終わりまでは、安値154円台、高値157円台でのボックス相場（持ち合い相場）、と言って良い。

総じて言うならば、今年（2025年）のドル／円は、157円程度で始まり、138円台後半まで大きく下落して、その後、大きくなりバウンド（反発上昇）して、元の水準（157円程度）

に戻った、と言えよう。

+++++

来年（2026年）の年初に関しては、今年（2025年）の後半の流れを引き継いで、ドル／円は、上昇傾向を保つだろう、と考えます。

それは、以下の理由によるものです。

日銀は、今月（2025年12月19日）の金融政策決定会合で、政策金利を0.5%程度から0.75%程度へ利上げすると決定した。

この日（2025年12月19日）、日銀が利上げしたにもかかわらず、マーケット（外国為替市場）は、むしろ「ドル買い円売り」に動いた。

マーケット（外国為替市場）は、利上げ後の円金利（政策金利0.75%程度）でも、日銀の利上げは十分ではないと判断しているのだ、と考えます。

換言すれば、現状程度の利上げでは、日本のインフレは収まらない、と判断しているのだ、と考えます。

マーケット（外国為替市場）は、日銀のさらなる利上げを催促しているのだ、と考えます。

以上のように考察すると、当面のところ、ドル／円の上昇傾向は維持される、と考えます。

+++++

+++++

（2025年12月30日東京時間12:45記述）